

授業期間	2020年度	授業対象	中国語速成科
科目名	うちな一学概説 I	授業時数合計 (単位数)	45 (3)
担当講師	鈴木 耕太	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	うちな一学概説 I では沖縄県の歴史・政治・地理・文化及び沖縄の経済・観光を学び、沖縄のと中国との繋がり、異文化理解・歴史的背景への理解を深める。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	本授業は、講義形式で行われる。各授業の後半において紹介した課題に関する議論のための時間も設ける。学習内容定着の為に、小テストを用意する。		
回	担当者	項目	授業内容
1	鈴木 耕太	第一章 歴史と政治	先史時代の沖縄
2	鈴木 耕太	第一章 歴史と政治	古琉球(グスク時代～第二尚氏王統成立)
3	鈴木 耕太	第一章 歴史と政治	近世琉球(薩摩の侵略等)
4	鈴木 耕太	第一章 歴史と政治	近代沖縄・沖縄戦
5	鈴木 耕太	第一章 歴史と政治	激動する沖縄の政治
6	鈴木 耕太	第二章 文化	世界遺産1
7	鈴木 耕太	第二章 文化	世界遺産2
8	鈴木 耕太	第二章 文化	沖縄の民俗1
9	鈴木 耕太	第二章 文化	沖縄の民俗2
10	鈴木 耕太	第二章 文化	伝統工芸、食文化、空手
	鈴木 耕太	第三章 観光	沖縄の地理・地勢・気候・地形
	鈴木 耕太	第三章 観光	沖縄の自然、農産物・天然記念物
	鈴木 耕太	第三章 観光	沖縄の観光政策
	鈴木 耕太	レポート発表・提出	うちな一学に関するレポートの提出及び発表
	鈴木 耕太	テスト	学期末テスト
成績評価の基準・方法	学習参加態度、小テスト、レポート提出、学期末テストを総合して評価する。		
到達目標	本授業では、琉球・沖縄の歴史と文化について基礎的な知識を身に付ける。沖縄をはじめ日本・中国・東アジアの歴史を国際的・グローバルな視点から考察し、説明することができる。		
参考書・教科書	書名	著者名(出版社)	
	うちな一観光教本	沖縄観光コンベンションビューロー	

授業期間	2020年度	授業対象	中国語速成科
科目名	パソコン基礎	授業時数合計 (単位数)	60 (4)
担当講師	新屋 智子	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	本授業では、マウス操作から、インターネット、メール、セキュリティ対策まで、パソコンを使うのに必要な基礎知識や基本操作を幅広く習得する。 また、マイクロソフト社のWord/Excel/PowerPointの基本操作を身につける。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	本授業では、Word/Excel/PowerPoint使用し、練習問題や模擬問題を解きながら、Word/Excel/PowerPointとはどのようなことかを学び実際に作業や演習を繰り返し行って、演習を行う。		
回	担当者	項目	授業内容
1	新屋 智子	Windows10とは何か	講座の概要説明・Windows10の基礎演習
2	新屋 智子	Wordの基礎1	基本操作と活用1
3	新屋 智子	Wordの基礎2	基本操作と活用2
4	新屋 智子	Wordの基礎3	基本操作と活用3
5	新屋 智子	Excelの基礎1	基本操作と活用1
6	新屋 智子	Excelの基礎2	基本操作と活用2
7	新屋 智子	Excelの基礎3	基本操作と活用3
8	新屋 智子	PowerPointの基礎1	基本操作と活用1
9	新屋 智子	PowerPointの基礎2	基本操作と活用2
10	新屋 智子	PowerPointの基礎3	基本操作と活用3
成績評価の基準・方法	本授業では、全体を各パートにユニット化し、ユニットごとのWord/Excel/PowerPoint演習を繰り返し、相互評価をおこなう。		
到達目標	パソコンの環境設定と変更、書式設定スライド操作、ファイルの編集ができる。 Word/Excel/PowerPointの基礎知識を修得してソフトを使用することが出来る。		
参考書・教科書	書名	著者名(出版社)	
	30時間でマスター Office2019	実教出版企画開発部	

授業期間	2020年度	授業対象	中国語速成科
科目名	パソコン応用	授業時数合計 (単位数)	60 (4)
担当講師	新屋 智子	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	パソコン応用では、Word/Excel/PowerPointの操作を行い実践的な能力アップを目指し、社会人基礎力として必須のWord/Excel/PowerPoint技術と方法の習得をねらいとする。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	Word/Excel/PowerPoint使用し、練習問題や模擬問題を解きながら、効果的なWord/Excel/プレゼンテーションとはどのようなことかを学び実際に作業や演習を繰り返し行って、演習を行う。		
回	担当者	項目	授業内容
1	新屋 智子	Word3級 練習問題1	Word文書処理技能認定試験問題集1
2	新屋 智子	Word3級 練習問題2	Word文書処理技能認定試験問題集2
3	新屋 智子	Word3級 練習問題3	Word文書処理技能認定試験問題集3
4	新屋 智子	Excel3級 練習問題1	Excel表計算処理技能認定試験問題集1
5	新屋 智子	Excel3級 練習問題2	Excel表計算処理技能認定試験問題集2
6	新屋 智子	Excel3級 練習問題3	Excel表計算処理技能認定試験問題集3
7	新屋 智子	PowerPoint3級 練習問題1	PowerPoint技能認定試験問題集1
8	新屋 智子	PowerPoint3級 練習問題2	PowerPoint技能認定試験問題集2
9	新屋 智子	PowerPoint3級 練習問題3	PowerPoint技能認定試験問題集3
10	新屋 智子	総合問題	模擬試験
成績評価の基準・方法	本授業では、練習問題を繰り返し実施することによりより実践的な能力向上を目指し相互評価をおこなう。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Wordの基礎知識を習得して文書を作成し、書式設定を行い、表組みやオブジェクトの挿入、ページ設定を行うことができる。 Excelの基礎知識を習得して数式や関数を用いて計算を行い、データベースやグラフ、印刷設定を行うことができる。 PowerPointの基礎知識を習得してスライドの挿入・設定を行い、テキストやオブジェクトの編集、さらには印刷の設定まで行うことができる。 		
参考書・教科書	書名		著者名(出版社)
	Word文書処理技能認定試験問題集 Excel表計算処理技能認定試験問題集 PowerPoint技能認定試験問題集		サーティファイソフトウェア活用能力認定委員会

授業期間	2020年度	授業対象	中国語速成科
科目名	入門中国語発音	授業時数合計 (単位数)	60 (4)
担当講師	松田よしの	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	本授業は、主に初めて中国語を学ぶ学生を対象とした授業である。授業では、中国語の発音と文法を中心に初級中国語の前半部分を学ぶ。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	本授業では、テキスト・ピンイン教材ドリル・CD及びカードを使用しながら、発音と基礎文法を学ぶ。さらにペアワークを通じての会話練習やリスニング練習などにより基本的なスキルを習得する。		
回	担当者	項目	授業内容
1	松田よしの	第一課	中国語とは・簡体字・基本母音・声調・ペア練習
2	松田よしの	第一課	21の子音・複母音・あいさつ・ペア練習
3	松田よしの	第一課	数字・ワンフレーズ・ペア練習
4	松田よしの	第一課	自己紹介・母音・ピンインまとめ・ペア練習
5	松田よしの	第二課	子音(唇音・舌根音)・人称代名詞・ペア練習
6	松田よしの	第二課	「的」使い方・「是」の使い方・ペア練習
7	松田よしの	第二課	否定副詞「不」「没」の使い方・ペア練習
8	松田よしの	第二課	ワンフレーズ(教室用語)・地名・ペア練習
9	松田よしの	第二課	地名・ペア練習・ドリル
10	松田よしの	テスト	テスト
成績評価の基準・方法	学習参加態度、小テスト、テストを総合して評価する。		
到達目標	本授業では、中国語学習のすべての基礎となる発音の習得を目指す。さらに、中国語の基礎学習(簡体字、基本的な文法・語彙の理解と習得)を進めながら、あいさつ言葉や初級中国語の前半部分の習得を目指す。		
参考書・教科書	書名	著者名(出版社)	
	汉语拼音教材	スペースチャイナ外語学院	

授業期間	2020年度	授業対象	中国語速成科
科目名	基礎中国語 I	授業時数合計 (単位数)	60 (4)
担当講師	李敏	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	本授業は、主に初めて中国語を学ぶ学生を対象とした授業である。授業では、問題集を使用し、中国語の発音・文法を中心に初級中国語の前半部分を学ぶ。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	本授業では、問題集を使用し、問題形式で発音と基礎文法を学び、中国語の基礎的な「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」の四技能強化を図る。		
回	担当者	項目	授業内容
1	李 敏	第一課	子音
2	〃	第二課	母音
3	〃	第三課	声調
4	〃	第四課	場所を尋ねる
5	〃	第五課	疑問視疑問文①
6	〃	第六課	疑問視疑問文②
7	〃	第七課	数字
8	〃	第八課	買い物
9	〃	第九課	曜日を尋ねる
10	〃	第十課	家族について
11	〃	第十一課	形容詞述語文・副詞
12	〃	第十二課	前置詞
13	〃	第十三課	「的」について
14	〃	第十四課	動詞述語文
15	〃	第十五課	接続詞
16	〃	第十六課	「了」
17	〃	第十七課	早口言葉
18	〃	第十八課	複文
19	〃	第十九課	使役文
20	〃	テスト	テスト
成績評価の基準・方法	学習参加態度、問題集、テストを総合して評価する。		
到達目標	問題集を数多く解く事で、中国語基礎文法の基礎を固め、初級中国語の前半部分の習得を目指す。		
参考書・教科書	書名	著者名(出版社)	
	基礎中国語練習問題	スペースチャイナ外語学院	

授業期間	2020年度	授業対象	中国語速成科
科目名	基礎中国語音読	授業時数合計 (単位数)	30 (2)
担当講師	李 敏	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	本授業は、主に初めて中国語を学ぶ学生を対象とした授業である。授業では、正確な発音とイントネーションで音読する。また教材はピンイン有及びピンイン無しのページを設け、ピンインが無くても漢字を読める力を養う。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	本授業では、テキストを「正確な発音とイントネーションで読めた」と思うまで音読を繰り返す。音読前にその文法の説明を読んで事前知識をつけ、音読する時にその文章の意味と構造に意識を向け、音読を行う。		
回	担当者	項目	授業内容
1	李敏	第一課	日本和中国
2	〃	第二課	四二一的家庭
3	〃	第三課	佐藤是大都的留学生
4	〃	第四課	中国人的爱好
5	〃	第五課	田中的日记
6	〃	第六課	请客和AA制
7	〃	第七課	中国的酒
8	〃	第八課	你抽烟吗？
9	〃	第九課	他为什么不能告诉我？
10	〃	第十課	春节
成績評価の基準・方法	学習参加態度、テストを総合して評価する。		
到達目標	音読を通して、中国語を発音するのに慣れ、ピンインなしで正確に読む力を養うことを目指す。		
参考書・教科書	書名	著者名(出版社)	
	音読ドリル (場面 I)	スペースチャイナ外語学院	

授業期間	2020年度	授業対象	中国語速成科
科目名	基礎中国語聴解 I	授業時数合計 (単位数)	60 (4)
担当講師	松田 よしの	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	本授業は、主に初めて中国語を学ぶ学生を対象とした授業である。本授業では、日本人にとって最も苦手を言われているリスニングを強化する。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	日本人がリスニングが苦手な主な原因として、耳が中国語の音やリズムに慣れない事、その言葉がまだきちんと身につけていない事が挙げられる。そういった原因から、本授業では、ピンインドリルとCDを使用し、口に出す練習を行う事で、リスニング力強化を図る。		
回	担当者	項目	授業内容
1	松田 よしの	第一課	中国語とは・簡体字・基本母音・声調
2	〃	第一課	中国語とは・簡体字・基本母音・声調
3	〃	第二課	子音(唇音・舌根音)・人称代名詞
4	〃	第二課	子音(唇音・舌根音)・人称代名詞
5	〃	第二課	子音(唇音・舌根音)・人称代名詞
6	〃	第三課	動詞述語文・「有」・「是」・否定副詞
7	〃	第三課	動詞述語文・「有」・「是」・否定副詞
8	〃	第三課	動詞述語文・「有」・「是」・否定副詞
9	〃	第四課	助動詞・疑問詞疑問文
10	〃	第四課	助動詞・疑問詞疑問文
10	〃	第四課	助動詞・疑問詞疑問文
11	〃	第五課	量詞・「了」
12	〃	第五課	量詞・「了」
13	〃	第五課	量詞・「了」
14	〃	第六課	「在」・「正在」・疑問詞疑問文
15	〃	第六課	「在」・「正在」・疑問詞疑問文
16	〃	第六課	「在」・「正在」・疑問詞疑問文
17	〃	第七課	アスペクト助詞・名詞述語文
18	〃	第七課	アスペクト助詞・名詞述語文
19	〃	第七課	アスペクト助詞・名詞述語文
20	〃	テスト	テスト
成績評価の基準・方法	学習参加態度、リスニングテスト、小テスト、テストを総合して評価する。		
到達目標	本授業では、リスニング練習中心の授業を行い、リスニング力向上を目指す。		
参考書・教科書	書名	著者名(出版社)	
	ピンインドリル	スペースチャイナ外語学院	

授業期間	2020年度	授業対象	中国語速成科
科目名	中国語日常会話	授業時数合計 (単位数)	30 (2)
担当講師	李 敏	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	本授業は、中国語初級者が会話において、次のステップに進む会話中心の授業である。中国での日常生活でよく話される話題を取り上げ、発音、文法、単語や文の意味など、各方面の基礎知識を総合的に学ぶ。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	本授業では教科書を使用し、ペア練習を取り入れ、中国語で表現する力及び中国語によるコミュニケーション力を強化を図る。		
回	担当者	項目	授業内容
1	李 敏	第一課	子音
2	〃	第二課	母音
3	〃	第三課	声調
4	〃	第四課	場所を尋ねる
5	〃	第五課	疑問視疑問文①
6	〃	第六課	疑問視疑問文②
7	〃	第七課	数字
8	〃	第八課	買い物
9	〃	第九課	曜日を尋ねる
10	〃	第十課	家族について
成績評価の基準・方法	学習参加態度、小テスト、テストを総合して評価する。		
到達目標	本授業では、基本的な会話ができ、生徒自ら自発的に中国語で伝えるコミュニケーション力の向上を目指す。		
参考書・教科書	書名	著者名(出版社)	
	汉语口语速成(入门篇)下巻	北京語言大学出版社	

授業期間	2020年度	授業対象	中国語速成科
科目名	中国語検定対策 I	授業時数合計 (単位数)	90 (6)
担当講師	松田 よしの	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	本授業は、中国語検定準4級対策の授業である。本授業では、過去問の「出題項目」と「出題頻度」を考慮し、効率的に合格点を取る為の対策授業を行う。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	本授業では、「過去問題集」を多く解き、日本語を覚えてきたものと同じく、日本語として間違えやすい「出題項目」を一つ一つクリアし、初級中国語前半部分の基礎固めを図る。		
回	担当者	項目	授業内容
1	松田 よしの	過去問題第97回	準4中国語検定過去問第97回・単語練習
2	〃	過去問題第97回	準4中国語検定過去問第97回・解説
3	〃	過去問題第96回	準4中国語検定過去問第96回・単語練習
4	〃	過去問題第96回	準4中国語検定過去問第96回・解説
5	〃	過去問題第95回	準4中国語検定過去問第95回・単語練習
6	〃	過去問題第95回	準4中国語検定過去問第95回・解説
7	〃	過去問題第94回	準4中国語検定過去問第94回・単語練習
8	〃	過去問題第94回	準4中国語検定過去問第94回・解説
9	〃	過去問題第93回	準4中国語検定過去問第93回・単語練習
10	〃	過去問題第93回	準4中国語検定過去問第93回・解説
10	〃	過去問題第92回	準4中国語検定過去問第92回・単語練習
11	〃	過去問題第92回	準4中国語検定過去問第92回・解説
12	〃	過去問題第91回	準4中国語検定過去問第91回・単語練習
13	〃	過去問題第91回	準4中国語検定過去問第91回・解説
14	〃	過去問題第90回	準4中国語検定過去問第90回・単語練習
15	〃	過去問題第90回	準4中国語検定過去問第90回・解説
16	〃	過去問題第89回	準4中国語検定過去問第89回・単語練習
17	〃	過去問題第89回	準4中国語検定過去問第89回・解説
18	〃	過去問題第88回	準4中国語検定過去問第88回・単語練習
19	〃	過去問題第88回	準4中国語検定過去問第88回・解説
20	〃	解答解説	準4級検定受験後解説
成績評価の基準・方法	学習参加態度、小テストを総合して評価する。		
到達目標	本授業は、中国語検定準4級「過去問題集」を多く解き、日本人にとって間違えやすい「出題項目」を一つ一つクリアし、合格を目指す。		
参考書・教科書	書名	著者名(出版社)	
	中国語検定準4級過去問題	スペースチャイナ外語学院	
	中国語検定準4級・4級編	スペースチャイナ外語学院	

授業期間	2020年度	授業対象	中国語速成科
科目名	基礎中国語Ⅱ	授業時数合計 (単位数)	60 (4)
担当講師	李 敏	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	本授業は、主に初めて中国語を学ぶ学生を対象とした授業である。授業では、問題集を使用し、中国語の発音・文法を中心に初級中国語の前半部分を学ぶ。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	本授業では、問題集を使用し、問題形式で発音と基礎文法を学び、中国語の基礎的な「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」の四技能強化を図る。		
回	担当者	項目	授業内容
1	李 敏	第一課	子音
2	〃	第二課	母音
3	〃	第三課	声調
4	〃	第四課	場所を尋ねる
5	〃	第五課	疑問視疑問文①
6	〃	第六課	疑問視疑問文②
7	〃	第七課	数字
8	〃	第八課	買い物
9	〃	第九課	曜日を尋ねる
10	〃	第十課	家族について
11	〃	第十一課	形容詞述語文・副詞
12	〃	第十二課	前置詞
13	〃	第十三課	「的」について
14	〃	第十四課	動詞述語文
15	〃	第十五課	接続詞
16	〃	第十六課	「了」
17	〃	第十七課	早口言葉
18	〃	第十八課	複文
19	〃	第十九課	使役文
20	〃	テスト	テスト
成績評価の基準・方法	学習参加態度、問題集、テストを総合して評価する。		
到達目標	問題集を数多く解く事で、中国語基礎文法の基礎を固め、初級中国語の前半部分の習得を目指す。		
参考書・教科書	書名	著者名(出版社)	
	基礎中国語練習問題	スペースチャイナ外語学院	

授業期間	2020年度	授業対象	中国語速成科
科目名	基礎中国語作文	授業時数合計 (単位数)	30 (2)
担当講師	李 敏	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	本授業は、主に初めて中国語を学ぶ学生を対象とした授業である。本授業では、初級レベルの「書く力」を養う。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	本授業では、中国語基礎文法の基礎を固めると同時に、「書く力」強化を図る。		
回	担当者	項目	授業内容
1	李 敏	第一章基本文型の練習	人称代名詞・「的」・指示代名詞・作文練習
2	〃	第二章基本文型の練習	形容詞述語文・作文練習
3	〃	第三章基本文型の練習	「是」構文・作文練習
4	〃	第四章基本文型の練習	「是」を省略できる文・作文練習
5	〃	第五章基本文型の練習	「有」を用いた文・作文練習
6	〃	第五章基本文型の練習	「有」を用いた文・作文練習
7	〃	第六章動詞述語文発展	一般動詞の述語文・作文練習
8	〃	第六章動詞述語文発展	一般動詞の述語文・作文練習
9	〃	第七章動詞述語文発展	アスペクト助詞・作文練習
10	〃	テスト	作文テスト
成績評価の基準・方法	学習参加態度、レポート、テストを総合して評価する。		
到達目標	本授業では、文法の練習問題及び作文練習の授業を行い、初級レベルの「書く力」習得を目指す。		
参考書・教科書	書名	著者名(出版社)	
	知りたいことがしっかりわかる実践中国語文法	三瀧 正道	

授業期間	2020年度	授業対象	中国語速成科
科目名	基礎中国語聴解Ⅱ	授業時数合計 (単位数)	30 (2)
担当講師	松田 よしの	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	本授業は、主に初めて中国語を学ぶ学生を対象とした授業である。本授業では、日本人にとって最も苦手を言われているリスニングを強化する。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	日本人がリスニングが苦手な主な原因として、耳が中国語の音やリズムに慣れていない事、その言葉がまだきちんと身につけていない事が挙げられる。そういった原因から、本授業では、ピンインドリルとCDを使用し、口に出す練習を行う事で、リスニング力強化を図る。		
回	担当者	項目	授業内容
1	松田 よしの	第八課	形容詞述語文・声調変化
2	〃	第八課	形容詞述語文・声調変化
3	〃	第八課	形容詞述語文・声調変化
4	〃	第九課	複母音・「是～的」構文
5	〃	第九課	複母音・「是～的」構文
6	〃	第十課	選択疑問文・結果補語
7	〃	第十課	選択疑問文・結果補語
8	〃	第十一課	前置詞「往」・方向補語・可能補語・ブランド名
9	〃	第十一課	前置詞「往」・方向補語・可能補語・ブランド名
10	〃	テスト	テスト
成績評価の基準・方法	学習参加態度、リスニングテスト、小テスト、テストを総合して評価する。		
到達目標	本授業では、リスニング練習中心の授業を行い、リスニング力向上を目指す。		
参考書・教科書	書名		著者名(出版社)
	ピンインドリル		スペースチャイナ外語学院

授業期間	2020年度	授業対象	中国語速成科
科目名	中国ビジネス会話 I	授業時数合計 (単位数)	45 (3)
担当講師	李 敏	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	本授業は、観光産業を柱とする沖縄観光人材育成する為の授業である。様々な観光スポットで中国人観光客への接客の際に使用する接客中国語を学ぶ。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	本授業では、様々なシーンを想定した接客中国語のペア練習を行う。ペア練習を通して、生徒自ら自発的にコミュニケーションする力や表現力強化を図る。		
回	担当者	項目	授業内容
1	李 敏	ショッピングセンター編	ショッピングセンターで使用する接客中国語①
2	〃	ショッピングセンター編	ショッピングセンターで使用する接客中国語②
3	〃	ショッピングセンター編	ショッピングセンターで使用する接客中国語③
4	〃	観光地編	観光地編 で使用する接客中国語①
5	〃	観光地編	観光地編 で使用する接客中国語②
6	〃	観光地編	観光地編 で使用する接客中国語③
7	〃	飲食店編	飲食店編 で使用する接客中国語①
8	〃	飲食店編	飲食店編 で使用する接客中国語②
9	〃	飲食店編	飲食店編 で使用する接客中国語③
10	〃	テスト	テスト
成績評価の基準・方法	学習参加態度、ペア発表、テストを総合して評価する。		
到達目標	本授業で、現場を想定した実践的ペア練習・発表を通して、観光業で活躍する為の接客中国語習得を目指す。		
参考書・教科書	書名	著者名(出版社)	
	中国語実用会話フレーズ集	スペースチャイナ外語学院	

授業期間	2020年度	授業対象	中国語速成科
科目名	中国語検定対策Ⅱ	授業時数合計 (単位数)	90 (6)
担当講師	松田 よしの	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	本授業は、中国語検定4級対策の授業である。本授業では、過去問の「出題項目」と「出題頻度」を考慮し、効率的に合格点を取る為の対策授業を行う。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	本授業では、「過去問題集」を多く解き、単語集を覚える。同時に、日本人にとって間違いやすい「出題項目」を一つ一つクリアし、初級中国語後半部分の基礎固めを図る。		
回	担当者	項目	授業内容
1	松田 よしの	過去問題第97回	4級中国語検定過去問第97回・単語練習
2	〃	過去問題第97回	4級中国語検定過去問第97回・解説
3	〃	過去問題第96回	4級中国語検定過去問第96回・単語練習
4	〃	過去問題第96回	4級中国語検定過去問第96回・解説
5	〃	過去問題第95回	4級中国語検定過去問第95回・単語練習
6	〃	過去問題第95回	4級中国語検定過去問第95回・解説
7	〃	過去問題第94回	4級中国語検定過去問第94回・単語練習
8	〃	過去問題第94回	4級中国語検定過去問第94回・解説
9	〃	過去問題第93回	4級中国語検定過去問第93回・単語練習
10	〃	過去問題第93回	4級中国語検定過去問第93回・解説
10	〃	過去問題第92回	4級中国語検定過去問第92回・単語練習
11	〃	過去問題第92回	4級中国語検定過去問第92回・解説
12	〃	過去問題第91回	4級中国語検定過去問第91回・単語練習
13	〃	過去問題第91回	4級中国語検定過去問第91回・解説
14	〃	過去問題第90回	4級中国語検定過去問第90回・単語練習
15	〃	過去問題第90回	4級中国語検定過去問第90回・解説
16	〃	過去問題第89回	4級中国語検定過去問第89回・単語練習
17	〃	過去問題第89回	4級中国語検定過去問第89回・解説
18	〃	過去問題第88回	4級中国語検定過去問第88回・単語練習
19	〃	過去問題第88回	4級中国語検定過去問第88回・解説
20	〃	解答解説	4級検定受験後解説
成績評価の基準・方法	学習参加態度、小テストを総合して評価する。		
到達目標	本授業は、中国語検定4級「過去問題集」を多く解き、日本人にとって間違いやすい「出題項目」を一つ一つクリアし、合格を目指す。		
参考書・教科書	書名	著者名(出版社)	
	中国語検定準4級過去問題	スペースチャイナ外語学院	
	中国語検定準4級・4級編	スペースチャイナ外語学院	

授業期間	2020年度	授業対象	中国語速成科
科目名	実習I	授業時数合計 (単位数)	60(2)
担当講師	松田、李	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	学んだ中国語を以て街頭アンケートを行う。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	学んだ中国語を以て街頭アンケートを行う。		
回	担当者	項目	授業内容
1	松田、諸見里	街頭アンケート考案(6h)	街頭アンケート内容を考案する
2	〃	街頭アンケート考案(6h)	街頭アンケート内容を考案する
3	〃	街頭アンケート作成(6h)	街頭アンケート内容を作成する
4	〃	街頭アンケート作成(6h)	街頭アンケート内容を作成する
5	〃	街頭アンケート作成(6h)	街頭アンケート内容を作成する
6	〃	グループ討論作成(6h)	グループ討論を行う
7	〃	グループ討論(6h)	グループ討論を行う
8	〃	街頭アンケートまとめ(6h)	街頭アンケートまとめ作業を行う
9	〃	フレーズ練習(6h)	フレーズ練習
10	〃	フレーズ練習(6h)	フレーズ練習
11	〃	フレーズ練習(6h)	フレーズ練習
12	〃	フレーズ練習(6h)	フレーズ練習
13	〃	フレーズ練習(6h)	フレーズ練習
14	〃	街頭アンケート調査(6h)	街頭アンケート調査
15	〃	街頭アンケート調査(6h)	街頭アンケート調査
16	〃	グループ討論(6h)	グループ討論
17	〃	グループ討論(6h)	グループ討論
18	〃	グループ討論(6h)	グループ討論
19	〃	調査まとめ(6h)	街頭アンケート調査をまとめる
20	〃	発表	発表
成績評価の基準・方法	レポート、提出物、発表を総合して評価する。		
到達目標	街頭アンケート調査を通して、職業意識を高め、授業で学んだ中国語を実際活かす。		